

クルミス ウィーリィ パワードライブ 【スタンダードモデル】

取扱説明書



目 次

○注意事項	・ ・ ・ ・ ・	P 1
○各部名称および梱包内容	・ ・ ・ ・	P 4
○使用方法	・ ・ ・ ・ ・	P 5
○専用バッテリーの充電方法	・ ・ ・	P 9
○各部調整	・ ・ ・ ・ ・	P 10
○運搬・保管方法	・ ・ ・ ・ ・	P 11
○お手入れ方法	・ ・ ・ ・ ・	P 11
○廃棄方法	・ ・ ・ ・ ・	P 12
○点検項目	・ ・ ・ ・ ・	P 12
○このようなときには	・ ・ ・ ・ ・	P 13
○仕様	・ ・ ・ ・ ・	P 15

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、更生相談員や福祉用具専門相談員などの専門の人に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

 **警告**：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

 **注意**：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

：してはいけない「禁止」を意味します。

：必ず実行していただく「強制」を意味します。

クルマイスの使用時の注意事項については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」に記載しています。
本製品を使用する前に、本説明書と合わせてご確認ください。



- ① パワードライブの特性や使用方法を理解しないままの走行はしないでください。
必ず専門の指導員から本製品の使用方法について指導を受けてから使用してください。
事故や転倒などによりケガをしたり、歩行者などに危害を与えるおそれがあります。
- ② 下記の行為が行えない人はパワードライブを使用しないでください。
 - 両手でハンドリムを握り、車輪の操作(進む、止まる)や駐車ブレーキの操作がしっかりと自分で行える。
 - 路面の状態や周囲の状況などをしっかりと把握できる。
 - リモコンの操作が確実にできる。必ず使用前に更生相談員や理学療法士、福用具専門相談員に相談してください。事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
※そのほかに障がいの種類や程度によっては、本製品の操作が難しい場合があります。
- ③ 足こぎでパワードライブを使用しないでください。
ケガをするおそれがあります。
- ④ 本製品を改造しないでください。また、電源ユニットを取り外さないでください。
発火や異常動作などにより事故やケガをするおそれがあります。
- ⑤ 本説明書に記載以外の使用はしないでください。
- ⑥ 本製品で道路を走行する場合は、法令上は歩行者として扱われます。
歩行者としての交通ルールやマナーを遵守し、使用してください。
- ⑦ パワードライブの操作に慣れるまでは、平坦で安全な場所で、介助者同伴のもと走行の練習をしてください。
不慣れな状態で操作すると、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑧ ハンドリムをすぐにつかめない場合は、駐車ブレーキを必ずロックしてください。
- ⑨ 最大利用者体重を守ってください。
最大利用者体重は100kgです。
- ⑩ 自走する場合は、勾配6度以上の坂道では使用しないでください。
- ⑪ 下り坂はパワードライブをオフにしてください。
事故や転倒などによりケガをしたり、歩行者などに危害を与えるおそれがあります。
- ⑫ 狭い場所では、パワードライブの電源はオフにして使用してください。
事故や転倒などによりケガをしたり、歩行者などに危害を与えるおそれがあります。
- ⑬ スピードを出しすぎないでください。
事故や転倒などによりケガをしたり、バッテリーユニットおよび制御ユニットの破損につながるおそれがあります。
※パワードライブを使用中に5km/h以上の速度で5秒間維持されると、ドライブ設定がオフになります。
- ⑭ ハンドリムをすぐに操作できる状態またはパワードライブの電源をオフにして使用してください。
クルマイスが思わぬ方向に進んだり、転倒する危険があります。
- ⑮ 傾斜地・坂道での走行は特に注意してください。
傾斜地や坂道ではクルマイスが予想以上に進んだり、スピードが出やすいなど大変危険です。
特にパワードライブ使用中は注意してください。
- ⑯ 次のような場合は走行を避けてください。
 - ・夜間 ・雨天 ・濃霧 ・強風 ・積雪 ・凍結 ・その他危険が予想される場合 ・暗がりや見通しの悪い場所
 - ・砂利道や泥道などの悪路雨天は路面が滑りやすくなるほか、バッテリーユニットおよび制御ユニットの破損につながるおそれもあり危険です。
- ⑰ 体調が悪い場合や判断力が低下している場合は、パワードライブを使用しないでください。
事故や転倒などによりケガをしたり、歩行者などに危害を与えるおそれがあります。
- ⑱ 手元リモコンやバッテリーユニットおよび制御ユニット、専用バッテリーに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。
- ⑲ 操作中に異常な音や振動、専用バッテリーの異常な発熱などが発生した場合は、即時に使用を中止してください。
事故や火災、ケガにつながるおそれがあります。



専用バッテリー

- ①分解・改造をしないでください。
発熱・発火・液もれ・破裂や故障などにつながるおそれがあります。
- ②専用バッテリー以外のバッテリーを使用しないでください。
製品の破損や火災、感電などの原因になります。
- ③専用バッテリーの取り付け・取り外しは、平坦な場所でクルマの駐車ブレーキをかけて停車した状態で行ってください。
クルマが不意に動き出し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ④専用バッテリーは奥まで差し込み、バッテリーユニットのカバーをしっかりと閉じて使用してください。
走行中にバッテリーが外れたり、雨やほこりで製品が破損するなどにより、事故や発火、感電につながるおそれがあります。
- ⑤0～40℃未満の環境下で充電してください。
この範囲外の温度での充電は、発熱・発火・液もれ・破裂や故障などにつながるおそれがあります。
- ⑥落下しやすい場所、磁気やほこりの多い場所に置かないでください。
発熱・発火・破裂・液もれにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑦クルマ側のバッテリー端子や専用バッテリーの端子、専用充電器の端子が汚れていたり、濡れている状態で専用バッテリーを差し込まないでください。
発熱・発火・液もれ・破裂や故障などにつながるおそれがあります。
- ⑧専用バッテリーや専用充電器が破損していたり、異臭がしたり、過度に発熱するなどの異常があった場合は、すぐに使用をやめてください。
発熱・発火・液もれ・破裂などにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑨専用バッテリーを専用充電器以外で充電したり、専用充電器で専用バッテリー以外を充電しないでください。
専用バッテリーの破損や火災、感電などの原因になります。
- ⑩専用充電器は定格表示してある電源で使用してください。
発電機などで使用すると異常に発熱し、事故や転倒などによりケガをしたり、火災のおそれがあります。
- ⑪専用バッテリーや専用充電器を水で濡らさないでください。
発熱・発火・液もれ・破裂などにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑫専用バッテリーを金属製のヘアピン等と一緒に持ち込んだり、保管したりしないでください。
端子部分に金属が触れるとショートし、発熱・感電・故障により事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑬炎天下の車内や火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い場所など高温になる場所に置かないでください。
変形・故障などにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑭火中に投入したり、加熱したりしないでください。
発熱・発火・液もれ・破裂などにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑮専用バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液にさわらないでください。
漏れた液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
漏れた液が目に入った場合は、こすらずきれいな水で洗った後、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因になります。
- ⑯所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑰風呂場などの湿気が多い場所で使用したり、充電しないでください。
発熱・感電・故障の原因などになります。
- ⑱踏みつけたり落下させたり、鋭利な刃物をぶつけたりなどして強い衝撃を与えないでください。
発熱・発火・破裂・故障の原因になります。
- ⑲可燃物や重いものを載せたり、毛布や座布団などで覆ったり包んだりしないでください。
発熱・発火・液もれの原因になります。
- ⑳濡れた手で使用しないでください。
発熱・感電・故障の原因などになります。
- ㉑専用バッテリーや専用充電器に金属などを差し込まないでください。
発熱・感電・故障の原因などになります。
- ㉒乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
感電やけがにつながるおそれがあります。

クルマيسの使用時の注意事項については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」に記載しています。
本製品を使用する前に、本説明書と合わせてご確認ください。



注意

- ① 手元リモコンに強い力や衝撃を加えないでください。
- ② バッテリーユニットおよび制御ユニットを踏んでキャスト上げをしたりしないでください。
製品が破損するおそれがあります。
- ③ 手元リモコンの周囲に手や物を置かないでください。
ボタンが不意に押されドライブ設定が変更されることで、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ④ バック走行でスピード(10km/h以上)を出して走行しないでください。
制御ユニットやバッテリーユニットが破損するおそれがあります。
- ⑤ パワードライブの電源をオンにした状態で専用バッテリーを抜き差ししないでください。
接点部の接触不良などにつながるおそれがあります。
- ⑥ パワードライブのドライブ設定は、周囲の状況をよく確認して行ってください。
- ⑦ パワードライブのドライブ設定は、平坦な場所で停車し、駐車ブレーキをロックして行ってください。
事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑧ 片輪走行や段差からの飛び降りなどの乱暴な操作をしないでください。
フレームや主輪、パワーユニット、専用バッテリーが破損するおそれがあります。
- ⑨ クルマيسを投げたり落したり、踏んだりなどの乱暴な取り扱いをしないでください。
パワーユニットや専用バッテリーが破損するおそれがあります。
- ⑩ 気温の差が激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に本製品を放置しないでください。
バッテリーユニットおよび制御ユニットが破損したり、専用バッテリーが発熱・発火・破裂するおそれがあります。
- ⑪ パワードライブの使用中にキャスト上げ(ウィリー操作)をしないでください。
バランスを崩して転倒し、ケガをするおそれがあります。
※安全のためにキャスト上げをする場合は転倒防止バー(オプション)の使用をおすすめします。
- ⑫ 湿気の多い場所で使用しないでください。
クルマيسのフレームが錆びたり、バッテリーユニットおよび制御ユニットの故障につながるおそれがあります。
- ⑬ 片手で走行しないでください。
片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。
特にパワードライブを使用中は注意してください。
- ⑭ 使用前には各部を点検してください。
本説明書P12および別紙「ウィーリィ取扱説明書」P16を参考に使用前の点検を行い、異常が見つかった場合は、ただちに使用を中止してください。
- ⑮ 使用前に専用バッテリーの電池残量の確認を行ってください。(P9参照)
- ⑯ 本製品を自動車などに積載する場合は、専用バッテリーを外し、駐車ブレーキを両側ともロックして、立てた状態にしてください。
思わぬ事故や製品の破損につながるおそれがあります。
- ⑰ ホイールを外した状態で力を加えないでください。
製品が破損するおそれがあります。
- ⑱ シンナーやベンジンなどの溶剤は、使用しないでください。
製品を痛めたり、専用バッテリーが発熱・発火・破裂・液もれするおそれがあります。
- ⑲ 0℃～50℃の環境下で使用・保管してください。

専用バッテリー

- ① 電源コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。
発煙・発火・感電のおそれがあります。
- ② 1ヶ月以上使用しない場合は、製品から取り外し充電して保管してください。
長期間の保管で電池残量が低くなりすぎると、過放電によって充電できなくなるおそれがあります。
- ③ 使用済みの専用バッテリーは一般ごみとして廃棄しないでください。
ゴミ収集車などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
※廃棄方法はP12を参照してください。

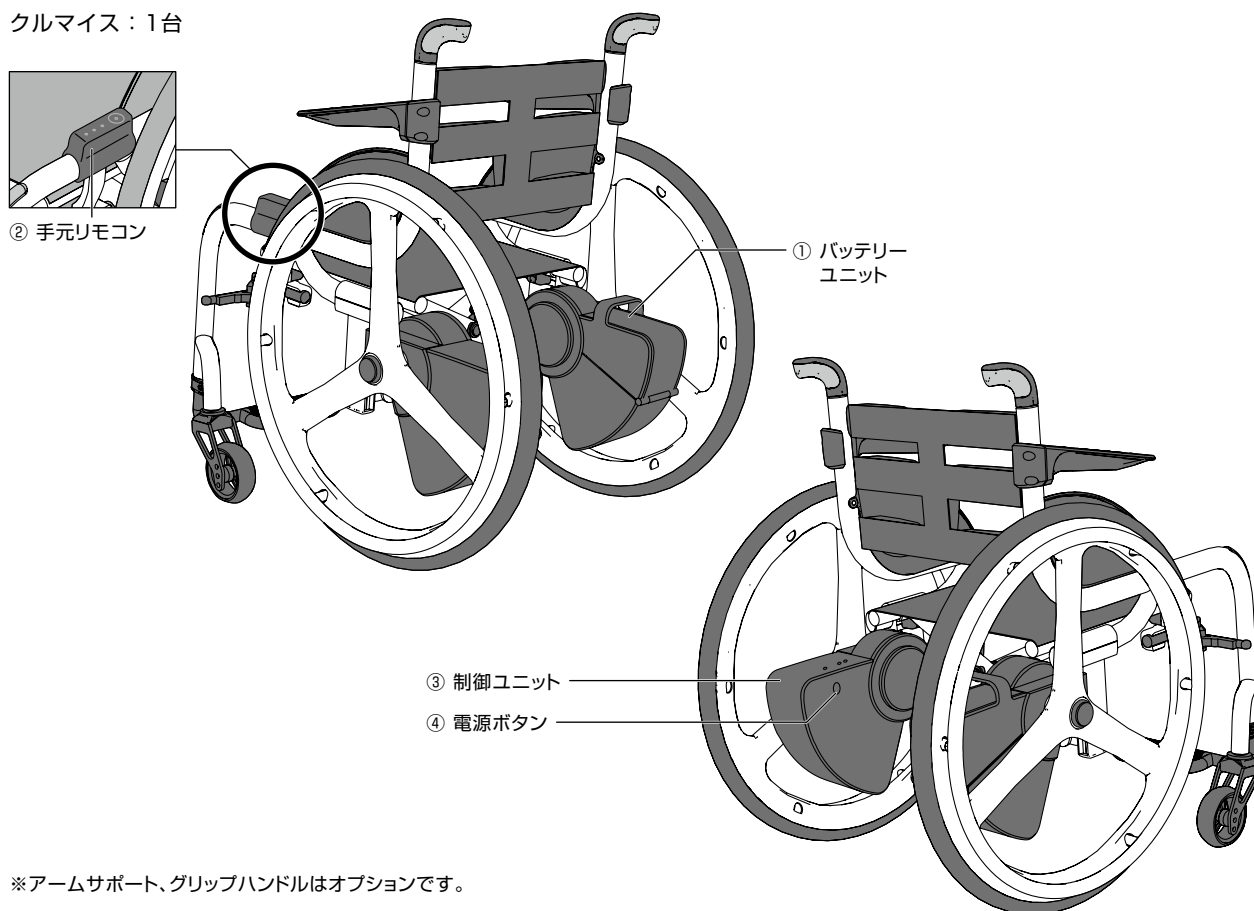
各部名称および梱包内容

クルマイスの名称については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」をご確認ください。

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。

万が一、部品の不足・破損があった場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口にご連絡ください。

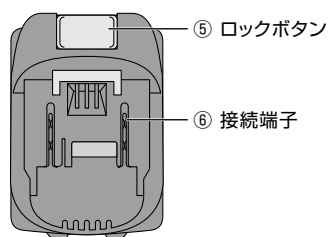
クルマイス：1台



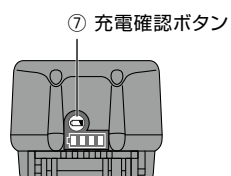
※アームサポート、グリップハンドルはオプションです。

専用バッテリー：1台

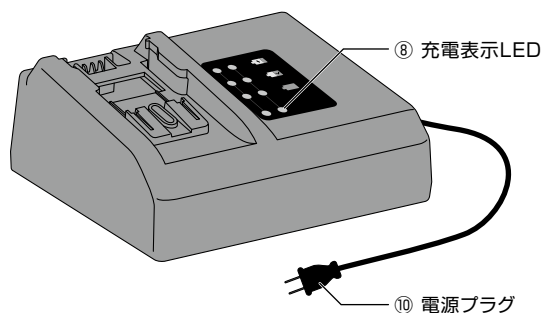
【前面】



【底面】



専用充電器：1台



付属品



本書
：1部



ウィーリィ
【スタンダードモデル】
取扱説明書
兼 保証書
：1部

安全に使用していただくため、使用前に以下の確認をしてください。

- 専用バッテリーの充電は十分にされているか。
- パワードライブが正常に作動するか。

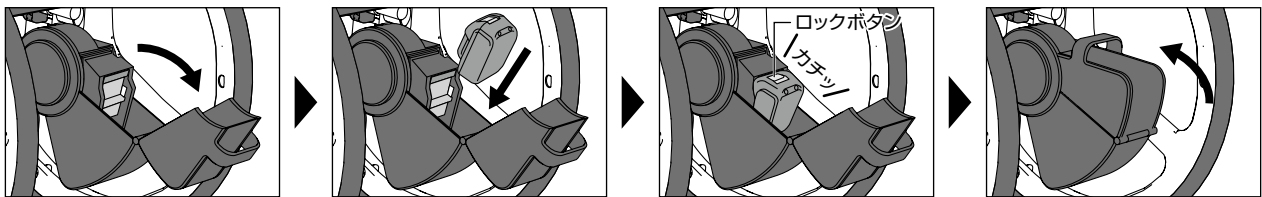
クルマイスの使用前点検については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」をご確認ください。

クルマイスの使用方法については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」をご確認ください。

1 専用バッテリーの取り付け・取り外し

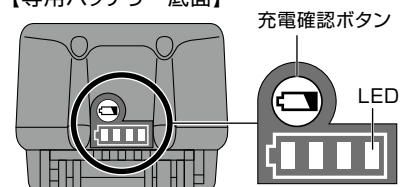
必ず平坦な場所にクルマイスを停車して両輪の駐車ブレーキをロックしてください。

取り付け方法



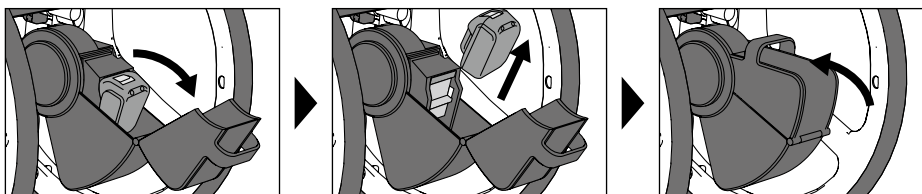
- ①取り付ける前に専用バッテリーの底面にある充電確認ボタンを押して電池【専用バッテリー底面】残量を確認してください。

※LEDが3ヶ所点灯以下だった場合は、充電してください。
(P9「専用バッテリーの充電方法」参照)



- ②バッテリーユニットのカバーを開けます。
- ③専用バッテリーの接続端子をバッテリーユニット側に向け、取り付けてください。
- ④専用バッテリーはロックボタンが「カチッ」と止まるまで差し込んでください。
- ⑤バッテリーユニットのカバーをしっかりと閉めてください。

取り外し方法



- ①バッテリーユニットのカバーを開けます。
- ②専用バッテリーのロックボタンを押しながら、抜き取ってください。
- ③バッテリーユニットのカバーをしっかりと閉めてください。



警告

- ①専用バッテリー以外のバッテリーを使用しないでください。
製品の破損や火災・感電などの原因になります。
- ②専用バッテリーの取り付け・取り外しは、平坦な場所でクルマイスの駐車ブレーキをかけて、停車した状態で行ってください。
クルマイスが不意に動き出し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ③専用バッテリーは奥まで差し込み、バッテリーユニットのカバーをしっかりと閉じて使用してください。
走行中にバッテリーが外れたり、雨やほこりで製品が破損するなどにより、事故や発火、感電につながるおそれがあります。
- ④クルマイス側のバッテリー端子や専用バッテリーの端子、専用充電器の端子が汚れていたり、濡れている状態で専用バッテリーを差し込まないでください。
発熱・発火・液もれ・破裂や故障などにつながるおそれがあります。
- ⑤濡れた手で専用バッテリーに触れないでください。
発熱・感電・故障の原因などになります。

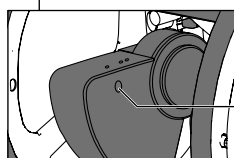
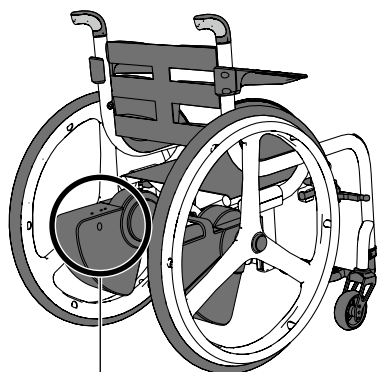


注意

1ヶ月以上使用しない場合は、製品から取り外し充電して保管してください。
長期間の保管で電池残量が低くなりすぎると、過放電によって充電できなくなるおそれがあります。

2 パワードライブの設定

必ず平坦な場所にクルマيسを停車して両輪の駐車ブレーキをロックしてください。



電源ボタン

制御ユニット側面にある電源ボタンを押して電源をオンにします。

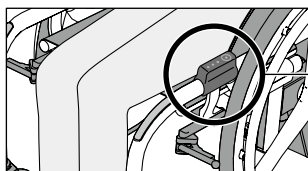
電源がオンになると、制御ユニット天面の【Power】LEDが点灯します。

※電源のオン／オフは手元リモコンのボタン長押しでも行えます。

手動でこぎ出すと自動的にドライブをスタートします。

減速しはじめると自動的にドライブをストップします。

ドライブ設定



【手元リモコン】

ドライブ設定
表示ランプ

切替ボタン
電源ランプ

クルマيسに座り、手元リモコンのボタンを押してドライブ設定を行います。

ボタンを押すごとに、ピッという音とともに【オフ】→【弱】→【中】→【強】→【オフ】と設定が切り替わります。

【着座センサーの搭載】

ドライブ設定は人が乗っている状態でないと行えません。

ドライブ設定	走行の目安	ドライブ設定	走行の目安
 ドライブ【オフ】 (ボタン部のみ点灯)	下り坂や狭い場所の走行時	 ドライブ【中】 (表示LED2ヶ所点灯)	厚手(毛の長い)じゅうたん 走行時
 ドライブ【弱】 (表示LED1ヶ所点灯)	カーペットやアスファルト 走行時	 ドライブ【強】 (表示LED3ヶ所点灯)	上り坂走行時



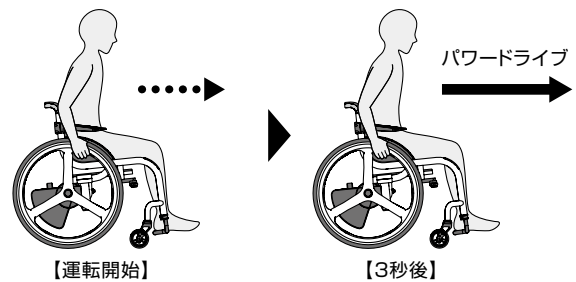
注意

- ①パワードライブのドライブ設定は、周囲の状況をよく確認して行ってください。
- ②ドライブ設定を行う場合は、平坦な場所で停車し、両輪の駐車ブレーキをロックして行ってください。
事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。

3 パワードライブの使用方法

- ① 駐車ブレーキを両側とも解除します。
- ② ハンドリムを握り、主軸を回転させるとパワードライブが作動します。

※パワードライブは駐車ブレーキを解除して3秒後から作動します。
 ※パワードライブは前進時のみ作動します。



【運転開始】

【3秒後】



警告

- ① パワードライブの特性や使用方法を理解しないままの走行はしないでください。
必ず専門の指導員から本製品の使用方法について指導を受けてから使用してください。
 事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ② 下記の行為が行えない人はパワードライブを使用しないでください。
 - 両手でハンドリムを握り、車輪の操作(進む、止まる)や駐車ブレーキの操作がしっかりと自分で行える。
 - 路面の状態や周囲の状況などをしっかりと把握できる。
 - リモコンの操作が確実にできる。
 ※そのほかに障がいの種類や程度によっては、本製品の操作が難しい場合があります。
 必ず使用前に更生相談員や理学療法士、福用具専門相談員に相談してください。事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ③ 足こぎでパワードライブを使用しないでください。
 ケガをするおそれがあります。
- ④ パワードライブの操作に慣れるまでは、平坦で安全な場所で、介助者同伴のもと走行の練習をしてください。
 不慣れな状態で操作すると、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑤ スピードを出しすぎないでください。
 事故や転倒などによりケガをしたり、バッテリーユニットおよび制御ユニットの破損につながるおそれがあります。
 ※パワードライブを使用中に5km/h以上の速度で5秒間維持されると、ドライブ設定がオフになります。
- ⑥ 介助者がクルマイスの操作をする場合は、ハンドリムをすぐに操作できる状態またはパワードライブの電源をオフにしてください。
 クルマイスが思わぬ方向に進んだり、転倒する危険があります。
- ⑦ 傾斜地・坂道での走行は特に注意してください。
 傾斜地や坂道ではクルマイスが予想以上に進んだり、スピードが出やすいなど大変危険です。
 特にパワードライブを使用中は注意してください。
- ⑧ 操作中に異常な音や振動、専用バッテリーの異常な発熱などが発生した場合は、即時に使用を中止してください。
 事故や火災、ケガにつながるおそれがあります。



注意

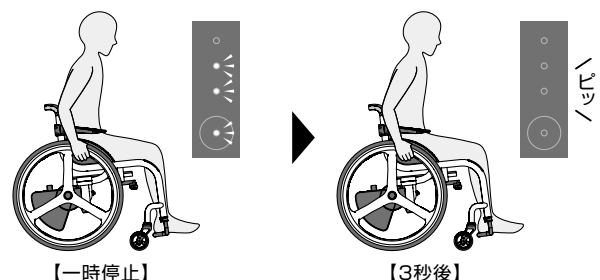
- ① 手元リモコンの周囲に手や物を置かないでください。
 ボタンが不意に押されパワー設定が変更されることで、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ② パワードライブの使用中にキャスト上げ(ウィリー操作)をしないでください。
 バランスを崩して転倒し、ケガをするおそれがあります。
 ※安全のためにキャスト上げをする場合は転倒防止バー(オプション)の使用をおすすめします。
- ③ 片手で走行しないでください。
 片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。特にパワードライブを使用中は注意してください。

自動オフ機能

ドライブ設定の自動オフ

【一時停車した場合】

- ① パワードライブを使用中に3秒以上停車すると、ピッという音と共に自動でドライブ設定がオフの状態になり、手元リモコンの操作ができなくなります。
- ② 再度、パワードライブを使用する場合は、クルマイスに座った状態で両輪の駐車ブレーキをロックして停車すると手元リモコンの操作ができるようになります。



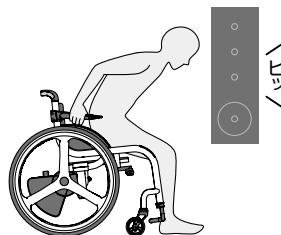
【一時停止】

【3秒後】

使用方法

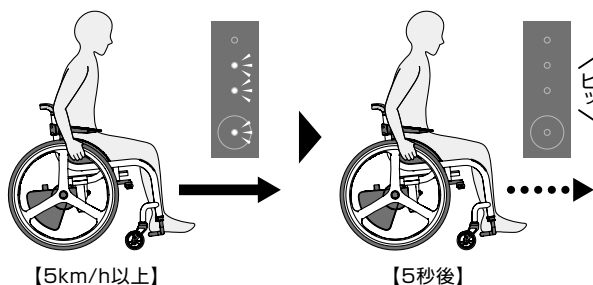
【座面から身体が離れた場合】

- ① パワードライブの使用中にクルマイスの座面から身体が離れると自動でドライブ設定がオフの状態になります。
※この状態になると、手元リモコンの操作ができなくなります。
- ② 再度、パワードライブを使用する場合は、クルマイスに座った状態で両輪の駐車ブレーキをロックすると手元リモコンの操作ができるようになります。



【スピードが出すぎている場合】

- ① パワードライブを使用中にクルマイスの速度が5km/h以上で5秒間維持されると、自動でドライブ設定がオフの状態になり、手元リモコンの操作ができなくなります。
- ② 再度、パワードライブを使用する場合は、クルマイスに座った状態で両輪の駐車ブレーキをロックして停車すると手元リモコンの操作ができるようになります。

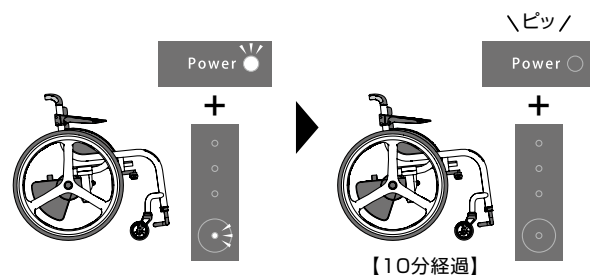


電源の自動オフ

【クルマイスから利用者様が降りた場合】

- ① クルマイスから利用者様が降りた状態で10分経過すると、自動でパワードライブの電源がオフになります。
- ② 再度、パワードライブを使用する場合は、電源ボタンを押してオンにし、クルマイスに座った状態で両輪の駐車ブレーキをロックして手元リモコンの設定を行ってください。

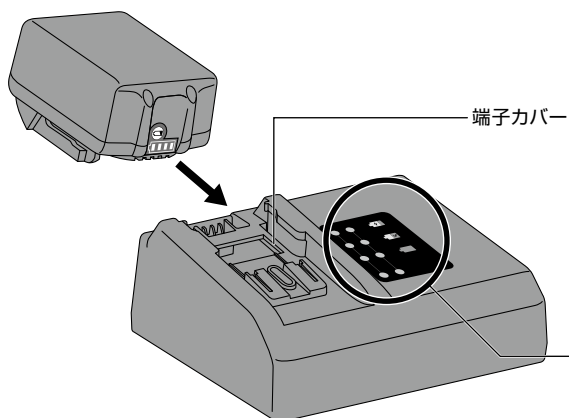
※電源の【オン/オフ】は手元リモコンの切替ボタン長押しでも行えます。



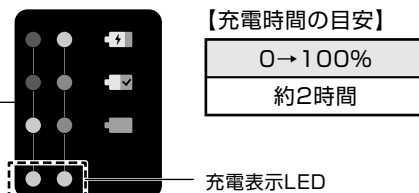
使用時のエラー表示と対応

点滅箇所	不具合内容	処 置
 手元リモコンの切替ボタンとドライブ設定のLEDが同時点滅	専用バッテリーの電池残量低下 ※さらに電池残量が低下するとブザー音とともにパワードライブの電源がオフになります。	専用バッテリーの充電をしてください。 (P9参照)
 手元リモコンの切替ボタンとドライブ設定のLEDが順番に点灯	バッテリーユニットおよび制御ユニットの異常	電源ボタンを押すか、手元リモコンの切替ボタンを長押ししてください。一度異常表示がリセットされます。 それでも直らない場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

専用バッテリーの充電方法



- ①専用充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
充電表示LEDの【緑】が点滅していれば、充電可能です。
- ②専用バッテリーを専用充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電表示LEDの【赤】が点灯し、充電を開始します。
充電が完了すると、表示ライトの【緑】が点灯します。



【充電時間の目安】

0→100%
約2時間

充電表示LED

バッテリー交換の目安

使用可能時間が半分程度になったら交換をおすすめします。

充電表示LEDについて

● : 消灯 ○ : 点灯 ○● : 点滅

LED表示	表示内容	LED表示	表示内容
● ●●	充電前 電源に差し込んだ状態	● ●●	実用充電完了
●● ●●	冷却中 冷却後、自動的に充電開始	● ●●	フル充電完了
●● ●●	充電中	●● ●●	充電不可(交互点滅) バッテリー寿命またはゴミづまりで充電不可



警告

- ①0℃～40℃未満の環境下で充電してください。
この範囲外での充電は、発火・発熱・破裂・液もれの原因になります。
- ②専用バッテリーや専用充電器が破損していたり、異臭がしたり、過度に発熱するなどの異常があった場合は、すぐに使用をやめてください。
発熱・発火・液もれ・破裂などにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ③専用バッテリーを専用充電器以外で充電したり、専用充電器で専用バッテリー以外を充電しないでください。
専用バッテリーの破損や火災、感電などの原因になります。
- ④専用充電器は定格表示してある電源で使用してください。
発電機などで使用すると異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- ⑤専用バッテリーや専用充電器を水で濡らさないでください。
発熱・発火・液もれ・破裂などにより事故やけがにつながるおそれがあります。
- ⑥所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑦風呂場などの湿気が多い場所で使用したり、充電しないでください。
発熱・感電・故障の原因などになります。



注意

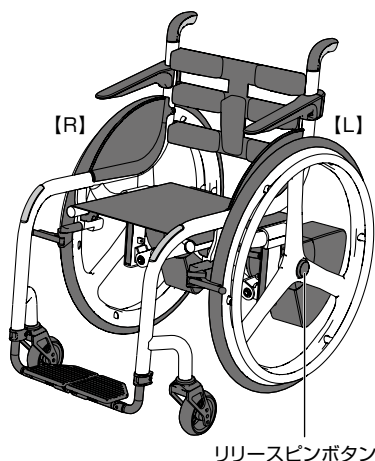
電源コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。
発熱・発火・感電のおそれがあります。

作業中の誤作動防止のため、バッテリーを取り外した状態で行ってください。

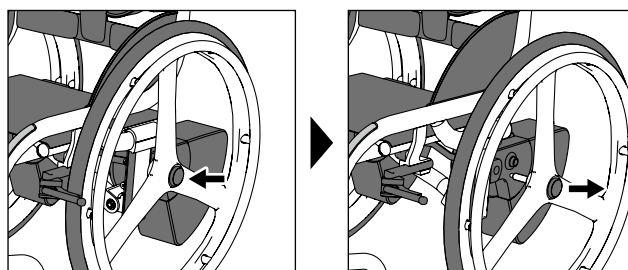


：この絵表示はグリス注油箇所を示しています。定期的（1ヶ月に1度が目安）に注油ください。

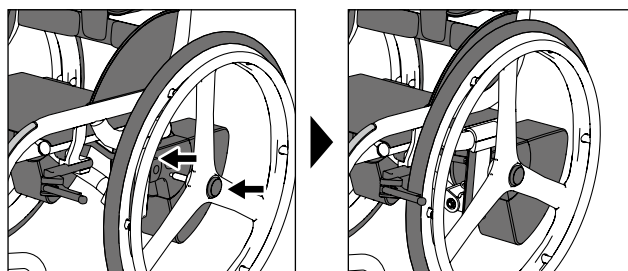
ホイールの取り付け・取り外し



ホイールの真ん中にあるリリースピンボタンを押したまま引くと取り外せます。

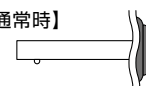


取り付ける場合は、リリースピンボタンを押したまま差し込んでください。

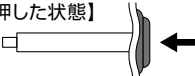


※ホイール接続部の先端はボタンを押した状態にしないと差し込むことができません。

【通常時】



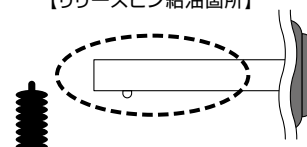
【押した状態】



リリースピンの給油

リリースピンの摩耗や焼き付き防止のため、3ヶ月に1度または走行距離100kmごとに、右図の箇所に給油してください。

【リリースピン給油箇所】



【推奨グリス】

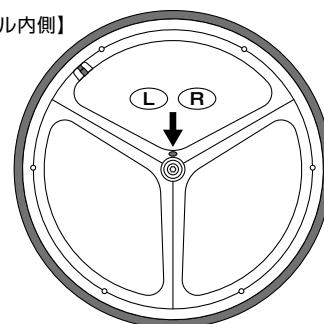
リチウムグリス ちょう度No.2



警告

- ① パワードライブ専用のホイールです。
他の製品に取り付けしないでください。
- ② ホイールには【L（左側専用）】【R（右側専用）】があります。
【L】【R】を間違えて取り付けしないでください。
間違えて取り付けると、パワードライブモードは作動せず、製品の破損につながるおそれがあります。

【ホイール内側】



クルマيسのその他の調整については、
別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」をご確認ください。

運搬・保管方法

クルマの運搬・保管方法については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」をご確認ください。

運搬方法

運搬するときには、専用バッテリーを取り外してください。(P5参照)

航空機に持ち込む場合

事前に航空会社に連絡し、航空会社の指示に従ってください。

特にバッテリーは、航空機への機内持ち込み・荷物としての預け入れが制限されることがあります。

右記を参考に必ず事前に航空会社へご相談ください。

【専用バッテリー】

種類：リチウムイオンバッテリー

電圧：18V

容量：5.2Ah

※ワット時定格量93.6Wh

保管方法

次のような場所では保管しないでください。故障の原因になります。

- ・ 浴室付近や湿気の多い場所
- ・ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- ・ 温度や湿度の急変する場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 揮発性物質の置いてある場所

専用バッテリーの保管方法

- ・ 1ヶ月以上使用しない場合は、専用バッテリーを製品から取り外し、充電してから保管してください。
 - ・ 1ヶ月以上保管する場合は、定期的に充電してください。
- ※長期間の保管で電池残量が低くなりすぎると、過放電によって充電できなくなるおそれがあります。

お手入れ方法

専用バッテリーを外してお手入れしてください。

消毒する場合は、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。仕上げに乾いた布で拭き取ってください。



- パワードライブユニットに水がかからないようにしてください。
- 次亜塩素酸を使用する場合は、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
- 有機溶剤(シンナーやベンジンなど)、強酸性洗剤は使用しないでください。
- オゾン消毒は金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
- 60℃以上の温度を加えないでください。
- 金属ブラシ、ナイロンたわしなどはキズをつけるため、使用しないでください。

廃棄方法

自治体・電気店の回収ボックスをご利用いただくか、お買い上げの販売店、または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口にご連絡ください。

点検項目

クルマイスの運搬・保管方法については、別紙「ウィーリィ スタンダードモデル取扱説明書」をご確認ください。

下記の点検項目を確認してください。

異常があった場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

点 検 項 目		確 認	
1	ホイール・主輪(後輪)の確認 ・【L】【R】を間違えて取り付けしていませんか？ ・前方向にスムーズに回転しますか？	YES ☐	NO
2	専用バッテリーの確認 ・破損や亀裂、液もれはありませんか？ ・バッテリーユニットにしっかりと取り付けできますか？ ・充電残量はありますか？ ・充電はできますか？	YES ☐	NO
3	パワードライブユニットの確認 ・電源ボタンは操作できますか？ ・バッテリーユニットのカバーに破損はありませんか？ ・ケーブルに破損はありませんか？ ・ケーブルが突っ張ったり、折りたたんだときに挟まりませんか？	YES ☐	NO
4	手元リモコンの確認 ・ボタンの操作はできますか？ ※着座して、駐車ブレーキを掛けて行ってください。 ・LEDはきちんと点灯しますか？	YES ☐	NO
5	主輪(後輪)の空気圧の確認 ・適切な空気圧になっていますか？(適切な空気圧:650kPa)	YES ☐	NO
6	リリースピンの確認 ・リリースピンにグリスが塗布されていますか？ ・リリースピンに著しい摩耗はありませんか？	YES ☐	NO

症 状	確 認	処 置
パワードライブモードの電源が入らない	専用バッテリーが外れていませんか？	専用バッテリーをしっかりと取り付けてください。(P5参照)
	専用バッテリーの電池残量が切れていませんか？	専用バッテリーを充電してください。(P9参照)
ドライブ設定ができない	電源が入っていますか？	電源をオンにしてください。(P6参照)
	専用バッテリーが外れていませんか？	専用バッテリーをしっかりと取り付けてください。(P5参照)
	専用バッテリーの充電が切れていませんか？	専用バッテリーを充電してください。(P9参照)
	自動オフ機能が作動していませんか？ ※自動オフ機能が作動した場合、リモコン操作が一時的にできなくなります。	しっかりと着座した状態で駐車ブレーキをロックして、リモコンを操作してください。
	着座していない状態で操作していませんか？	しっかりと着座した状態で駐車ブレーキをロックして、リモコンを操作してください。
	両輪の駐車ブレーキを解除していませんか？	しっかりと着座した状態で駐車ブレーキをロックして、リモコンを操作してください。
パワードライブユニットから異音がる	ホイールが外れかかっていたり、ガタついていませんか？	ホイールをしっかりと取り付けてください。(P10参照)
	ホイールの【L】【R】を間違えて取りつけていませんか？	ホイールの【L】【R】を正しく取りつけてください。(P10参照)
	ホイールから音が出ていませんか？	リリースピンにグリスを塗布してください。
	バック走行していませんか？	バック走行時はモーターの音がします。(ドライブは行いません)
ドライブを行わない	バック走行していませんか？	パワードライブは前進時のみ作動します。
	一時停止(3秒以上)していませんか？	3秒以上一時停止すると、自動オフ機能が作動します。
	座面から体が離れていませんか？	座面から体が離れると、自動オフ機能が作動します。
	しっかりと座っていますか？	しっかりと座ってください。座り方によっては着座センサーが誤作動する場合があります。
	スピードが出すぎていませんか？	時速5km以上で走行すると自動オフ機能が作動します。
	ホイールの【L】【R】を間違えて取りつけていませんか？	ホイールの【L】【R】を正しく取りつけてください。(P10参照)
	専用バッテリーの充電が切れかかっていませんか？	専用バッテリーを充電してください。(P9参照)

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

仕様

ウィーリィ パワードライブ (スタンダードモデル)

品番 MWHEPDGY22(ダークグレー)
MWHEPDWY22(ホワイト)

- 素 材：フレーム＝アルミ
シート＝軟質樹脂(補強仕様)
制御ユニット・バッテリーユニットカバー＝ABS樹脂他
バックサポート＝ポリエステル
ハンドリム＝アルミ
- サ イ ズ：本体＝全長80×全高85×全幅59cm
前座高＝45cm、後座高＝40cm
シート幅＝40cm、シート奥行＝43cm
アームサポート高＝25cm、バックサポート高＝40cm
フット長＝33cm～
折りたたみ幅＝38cm
- 重 量：19.8kg～
- キャスト：5in、ノーパンクタイヤ
- タ イ ヤ：24in、エア式タイヤ(米式)、空気圧＝650kPa(6.5kg/cm²)
- 最大使用者体重：100kg
- 専用バッテリー：リチウムイオン、DC18V、5.2A、93.6Wh、700g
- 駆動方式：後輪直接駆動
- 駆動モーター：DC18V、30W×2
- パワードライブ走行距離：10km/1充電
※走行条件：新品バッテリー・満充電、気温15～25℃、体重60kg、直進平坦路での連続走行(ドライブ設定：中)

■1年保証(別紙保証書)

開発・製造・販売元

ISO9001 認証取得
ISO13485 認証取得
※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、
製造および付帯サービスにて取得
本製品の取扱説明書と使用方法動画は
下記QRコードからダウンロードいた
できます。



取扱説明書



動画で見る製品情報

株式会社 モルテン

健康用品事業本部

www.molten.co.jp/health

東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡

製品他、各種お問い合わせは

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

TEL.082-578-9226

E-mail:health@molten.co.jp

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日/9:00～17:00
※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く